

各 位

2024 年 7 月 16 日

SBI 地方創生バンキングシステム株式会社

株式会社福島銀行による地域金融機関向けの
クラウドベースの勘定系システム稼働のお知らせ

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBIHD」）の子会社である SBI 地方創生バンキングシステム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：森田 俊平、以下「当社」）はこのたび、SBIHD とフューチャーアーキテクト株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷口 友彦）との業務提携に関する基本合意に基づき、共同で開発を進めている地域金融機関向けのクラウドベースの勘定系システム（以下、「次世代バンキングシステム」）について、株式会社福島銀行（本店：福島県福島市、取締役社長：加藤 容啓、以下「福島銀行」）における本システム導入が完了し、本日稼働を開始いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、次世代バンキングシステムの導入・稼働に係る第 1 号案件となります。

SBI グループの地方創生戦略の一つとして、地域金融機関の活性化による日本の経済成長を掲げており、質的転換を図ろうとする強い意志があれば地域金融機関はその存在価値を高めていくことができると考えています。地域金融機関の果たすべき役割の重要性は益々高まっており、地域事業者の事業承継支援や地域における事業立上げ、事業転換、事業提携支援等を通じた新たな資金需要の創出、デジタル技術の進展に伴う銀行業務の抜本的な改革、フィンテック事業者の有する技術・サービスの速やかな活用による顧客利便性の向上などが求められています。

このような状況下において、福島銀行では、2022 年 1 月に次世代バンキングシステムの採用を決定し、2024 年 4 月より「『デジタル』の力で『リアル』の力を最大化」を基本方針に掲げ「SHIN ふくぎん 中期経営計画」を開始しました。次世代バンキングシステムを最大限に活用した、デジタル化による店舗における業務効率化とお客さま利便性の向上を実現し、社員による対面営業のコンサルティング業務の強化を進めてまいります。

今後、福島銀行では、店頭でのタブレットにより窓口手続きを簡素化するとともに、インターネットバンキングによる取引の拡大を実現します。また、生成 AI・ビックデータの活用等で各業務の効率化・高度化を進めることにより、銀行内部の事務オペレーション改革及びマーケティング・分析力向上を推し進め、質的転換を実現します。

また本システムは、アマゾン ウェブ サービス（AWS）上で設計・構築されていることか

ら、高い拡張性を有するほか、すべての勘定系プログラムが API を通じてあらゆるシステムに接続できるため、機能の新規・追加開発を低コストかつ短期間で実現します。これにより、経営環境の変化に合わせたスピーディーかつ柔軟な商品・サービスの開発・提供を行うアジャイル経営の推進力となります。

【次世代バンキングシステムで変わる営業店（福島銀行の模擬店舗）】



当社は、今後も引き続き福島銀行の次世代バンキングシステムの運用・管理支援に注力するとともに、本稼働に至るまでに培った知見・ノウハウを活かして、福島銀行以降の導入先に対するスムーズな導入支援を展開いたします。また、地方銀行だけにとどまらず幅広く金融機関に提案してまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126